

嘉麻市社協だより

# えがお

No. 96

発行日/2014.2.1

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内

TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX.0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

<https://www.facebook.com/kama.swc>

# CONFIDENCE

美術部作



## 長〜い恵方巻作りに挑戦



### 稲築中学校3年生最後のPTA活動

## 私の不登校、ひきこもり

不登校やひきこもりの家族を持つ方の集まりを毎月第4木曜日に開催するようになって、2年が経過しようとしています。その中で、本人の気持ちになかなか理解できずに悩んでいるという声は何度も出ていました。そこで、12月は、ひきこもり経験のある三村吉郎さん（福岡YMCA学院高等学校スタッフ）をお招きして勉強会というかたちで開催したところ、ご家族のほか関心のある方など16名が参加されました。三村さんは、環境の変化やいじめ、友人とのトラブルなどが原因で、中学校1年生から不登校となり、自宅中心の生活を7年間送られたことで、食事のどを通らなかつたことや家族へ暴言をはくほど不安な気持ちが強かったことなど当時の複雑な心境を率直に語られました。しばらくは、心と体が離れているような感覚があったそう、自分の気持ちに体がついていけないことを認め、頑張りすぎないように過ごすことで、気持ちが落ち着いていき、次第に外に出たいと思えるようになってきたと話されました。また、家族の温かいサポートや自分を認めてくれる方の存在があったことで、外へ出る一歩をやっと踏み出すことができたときを振り返っていました。

現在はその経験を生かして、不登校やひきこもりに悩む若者を支援するスタッフとして勤務するかたわら、休みを利用してボランティアでの訪問支援活動もされています。今回のお話からも、同じ悩みを抱える方を少しでもサポートできればという熱い思いが感じられ、その真っ直ぐな思いに目を熱くされている方もおられました。

参加されたご家族の方からも「本人も複雑な気持ちを抱えていることがわかりました」「難しいですが、待つことが大事ですね」との感想があり、ひきこもる気持ちを一緒に考えることができた勉強会となりました。



## 越冬支援物資を届けました

### ホームレス支援事業

職員の方によると、北九州市内の路上生活者の数は年々減少傾向にあるようですが、平成20年のリーマンショック以降、雇用情

厳しい寒さの中で路上生活をしている方たちへ、毛布やジャンパーなどを届けようとするところ、市民募集したところ、市民の方から200点を超える物資が寄せられました。1月8日(水)、その物資をNPO法人北九州ホームレス支援機構に届けました。支援機構は冬の間、毎週金曜日に炊き出しや巡回活動を行っており、今回届けた物資はその際に配られる予定です。

勢の悪化による就職難などの影響で、社会とのつながりを失って路上での生活をはじめざるを得ない若者が増えているそうです。

また、「毎年冬になると、毛布が不足しがちなので、とても助かります」と感謝の言葉をいただきました。

今回、物資をお寄せいただいた皆様、本当にありがとうございます。



▲ 支援機構の保管場所に集められたたくさんの物資

# 障がい児日中一時支援事業のご案内

本会では、障がいを持つ子どもたちが、放課後や長期休暇期間を充実して過ごせる場を提供しています。現在、34名の子どもたちが利用していて、季節の行事やボランティアとのふれあいをつうじて楽しい時間を過ごしています。利用に際しては、事前の見学もできますので、お気軽にご相談ください。

## 利用できるのは…

18歳未満の児童で、嘉麻市、飯塚市、桂川町の地域生活支援事業の利用決定を受けた方です。

## 利用できる日時は…

以下の時間帯の中で利用することができます。

- 月曜日から金曜日…15時から19時まで
- 土曜日、祝日、長期休暇期間…8時30分から17時まで（事前にご連絡いただければ、朝8時から、夕方は18時まで利用可能です。）

## ご希望の方には…

- おやつを提供します  
1日1回100円
- 事業所まで送迎します  
距離に応じて100円～300円（利用に際しての送迎は、原則としてご家族が行うことになっています。しかし、それができない方については、平日のみ、市内の学校やスクールバスの停留所までお迎えに行っています。）

## 利用場所は…

本会の事業所は市内に2カ所ありますので、ご都合に合わせてどちらでも利用することができます。

- 嘉麻北日中一時支援事業所  
嘉麻市鴨生339-8  
（嘉穂特別支援学校横）
- 嘉麻南日中一時支援事業所  
嘉麻市上山田502-6  
（山田ふれあいハウス内）

## 利用料金は…

1回につき122円～567円で、障がい区分や利用時間により異なります。  
（生活保護世帯の方は無料です。）

## お問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

## すてきな思い出ができました☆ 日中一時支援事業 クリスマス会

昨年の12月24日（火）、嘉麻北・南日中一時支援事業所による合同クリスマス会を開催し、子どもたち14名が参加しました。

クリスマス会が始まると、子どもたちはまず、スタッフが手作りした『愛情たっぷりシチュー』で腹ごしらえをしました。その後、ボランティアの山戸理恵子さんによる『ヴィオラ』の演奏を聴いたり、クリスマスソングやアニメソングをみんなで歌いました。また、



▲サンタさんからのプレゼント、何かな～？楽しみだね★



▲元気いっぱいクリスマスソングを歌いました♪  
さんによる大型絵本や紙芝居の読み聞かせでは、普段見ることのない絵本の大きさに興味津々で見入っていました。

最後に、スタッフが扮したサンタクローズが突然登場したため、泣き出しちゃう子もいましたが、プレゼントをもらおうとニコニコ笑顔になり、とても嬉しそうでした。短い時間ではありましたが、ボランティアさんとのふれあいなど、子どもたちにとってはすてきな思い出ができたようでした。

身一つとなり、生まれたばかりの我が子を胸に抱いたとき「あなただったのね」というのが、最初の反応だった。自分とはまるっきり異なる人格をもったひとりの人間。赤ちゃんが、わたしの腕の中にいる。たしかに胎内にいたあの子が目の前にいた。初対面に照れくささも「わたし」ところに生まれてきてくれてありがとう」と心の中で伝えた。お産はゴールであり、始まりである。安心して抱かれ、すべてをわたしの腕に委ねている赤ちゃんを感じながら、決意と覚悟が入り混じったような感情を味わった。母親として育っていくにはよいスタートだったのだと思う。

さて、紆余曲折はあるが、自らの子育て親育ちに取り組みながら、この13年間、自治体が主催する子育て支援や女性支援に関する講座において、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションを学ぶ場を担当させていただいてきた。参加される子育て中の女性達の悩みや苦勞は、かつてのわたしの悩みや苦勞と重なることも多かった。ただ、特に若い世代の女性達は、

「子育て」が予定どおりに進まないことに対するストレスが高い傾向にあると感じていた。

考えてみれば当たり前なのだが、子育て中は、子の育ちにしろ、生活にしろ、大人の予定どおりにすんなり進まないものだ。しかし、ついつい予定どおりに進むという予測や期待を抱いてしまう。それは根深い習慣となっていて、イライラしている自分に気づいて我に返るといった女性に何人も会ってきた。わたしにも身に覚えがあるが、そのようなことが続けばストレスになり、不安や怒り、イライラが高まってしまふのは人間の当然の反応なのだ。

とくに乳幼児期の子育てを、学校や会社で訓練されてきたような価値観や思考の使い方を取り組んだら、とてもストレスフルなものになるだろうと、わたしは思う。一般的には、目標をもってそれに向かい、能率効率を優先し、計画どおりにものごとを進めることは良い方法だ。わたしたちはそのようなトレーニングを受け、身につけてきた。

しかし、子育てにもその感覚で

臨んだら、ストレスを抱え込むことになってしまう。それとは違うモノの観方と価値観が必要だと思うのだ。

能率効率よりもその子の育ちのペースを尊重し、ゆったりとかまへ、生きる力を信じて成長を待つという姿勢。目の前にいる赤ちゃんの変化に敏感でいられる感受性を働かせ、柔軟に根気よく携わることなどだと思う。

今の社会で子育てする女性は、この二つの側面を行ったり来たりして暮らしているのではないだろうか。子育ては、年中無休の24時間営業で、孤軍奮闘し、身体的にも精神的にもきついことがあると思うが、二つの側面を同時に生きていることで、人間的に鍛えられ成熟する機会にもなっているように思う。

とはいえ、当の子育て中の女性たちは大変だと思う。子育てのさまざまな場面において、1つ1つ判断していかなければならない。だからこそ、パートナーや身近な人たちとのよりよいコミュニケーションを心がけ、自分の周りに支えとなる関係づくりが重要だ。理解があり、相談ができ、安心する、

そんな関係だ。それには、自分の気持ちや状態、意見や意思などを率直に伝えていくことが必要になる。わかってもらえないとあきらめず、面倒くさがらず言葉にし、自分の子育てネットワークをつくってほしいと思う。



鶴島 夕子さん  
プロフィール

東京出身。3・11をきっかけに、田川郡赤村に移住、自然に寄り添う暮らしを始める。

非暴力のコミュニケーションの考え方や方法論であるアサーションとの出会いをきっかけに、心、体、意識などの領域について学び続けており、現在は、コミュニケーションワーク、セルフケア、ライフキャリアなどよりよく自分を生きるためのプログラムづくりやワークショップ等を行っている。

ヘルスカウンセリング学会公認ソーシャルスキルトレーナー、コミュニケーションワーカーナビゲーター。

## 今月のご案内

**おしゃべりサロン**  
 ○2月19日(水)○  
 10時30分～12時  
 ♪ぎょうざ作り♪  
 エプロン、三角巾、飲み物をお持ちください。  
 参加費は1組100円です。

○3月19日(水)○  
 10時～12時  
 ♪スクラップブックのり、はさみ、お気に入りの写真5、6枚をお持ちください。  
 ※場所はいずれも、  
 碓井千歳会館です。

**在宅介護者の集い**  
 ○2月13日(木)○  
 場所：山田ふれあいハウス  
 ○3月13日(木)○  
 場所：寄ってこハウス  
 ※時間はいずれも  
 13時～15時です。

**ひきこもり家族の集い**  
 ○2月27日(木)○  
 ○3月27日(木)○  
 ※時間はいずれも  
 13時～15時です。  
 ※場所はいずれも  
 寄ってこハウスです。

## 平成25年度 社協会員募集 いつでもご加入いただけます

本会の各事業は、市民のみなさまをはじめ、福祉団体、地域の企業などから寄せていただいた会員会費などを財源として実施しています。今後もより充実した活動を実施してまいりますので、本会の活動をご理解いただき、会員にご加入いただきますようお願いいたします。

### 会員の種類

個人会員：1口1,000円 団体・企業会員：1口1,000円

### 入会方法

- 1 社協窓口にお越しいただける方  
 窓口で入会申込書をご記入いただき、今年度分の会費をお支払いいただきます。
- 2 集金をご希望される方  
 社協までご連絡ください。地区によって集金方法が異なりますので、ご案内いたします。
- 3 市外の方  
 氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便小為替で本会まで郵送ください。(その他の送金方法をご希望の方は、下記までご連絡ください。)

お問い合わせ  
 嘉麻市社会福祉協議会  
 0948-42-0751

## みんなの力で地域を支え合うフォーラム

認知症になっても障がいがあってもみんないるから大丈夫

地域における支え合いの仕組みづくりを学ぶフォーラムを下記の通り開催しますので、ぜひご参加ください。

記

日時 平成26年3月23日(日) 午後1時30分～  
 会場 なつき文化ホール  
 主催 嘉麻市・嘉麻市社会福祉協議会の共催  
 内容

1部：講演 「埼玉県行田市における包括的虐待防止の取組みについて」 ～地域ぐるみの支え合い活動で虐待予防～ 埼玉県行田市健康福祉部福祉課 トータルサポート推進担当 保健師 野村 政子さん	2部：意見交換会 パネラー 上田 晴男さん (全国権利擁護支援センター事務局長) パネラー 野村 政子さん ※他2名調整中
--	---

申し込み・問い合わせ  
 嘉麻市地域包括支援センター  
 0948-53-1191

## 「読めば答へが見つかるかな」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

?? 問題 ??

昨年12月24日に開催した障がい児日中一時支援事業のクリスマス会で、子どもたちが食べた食事のメニューはなんでしょうか。

- ①愛情たっぷりシチュー
- ②野菜たっぷりカレーライス
- ③栄養たっぷり野菜スープ

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、2月28日(必着)までにハガキ、またはEメールにて応募ください。

● 送付先 〒820-0205  
 嘉麻市岩崎1143番地3  
 嘉麻市社会福祉協議会  
 E-mail: riki@kama.syakyokyo.com

● 前号のクイズの答え (2)  
 平成25年11月にスタートした市民後見人養成講座の最初の講義内容は「成年後見制度の基本的理解」でした。応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

今年も、ボランティアの皆様のご活躍を拝見して、素晴らしく感じます。皆様の心掛けが大切ですね。これからも皆様の笑顔が見れることを楽しみにしています。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。



### もしもの時に備えて

#### 嘉麻市と嘉麻市社協が協定を結ぶ

12月24日、碓井庁舎で嘉麻市と本会が、嘉麻市災害ボランティアセンターの設置に関する協定を取り交わす調印式が行われました。

災害ボランティアセンターとは、被災されて困りごとを抱えている方とボランティアの方とをつなぐところで、あらかじめ設置に関する取り決めをしておくことで、いざという時にすみやかにセンターを開設することができます。

災害時に力が発揮できるよう、嘉麻市災害ボランティアセンター設置に向けた準備を一つ一つ進めていきたいと思ひます。



▲固い握手を交わす  
松岡賛市長と村上曙生会長

### ＊ ボランティア募集 ＊

#### 自主学習のサポート

児童養護施設嘉麻学園では、小・中学生の自主学習をサポートしていただける方を募集しています。

日時 月曜日～金曜日  
午後4時30分～午後8時  
※可能な曜日や時間帯で構いません。

場所 嘉麻学園（嘉麻市漆生 2347-1）

内容 国語の教科書の音読や宿題のサポート

備考 事前の見学も可能です。



#### レクリエーションのお手伝い

特別養護老人ホーム松寿園では、入所者のサポートをしていただける方を募集します。

日時 月曜日～金曜日  
※可能な時間帯で構いません。

場所 松寿園（嘉麻市漆生 2338-1）

内容 レクリエーションの補助、行事のお手伝い、話し相手など

募集人数 2～3名

備考 動きやすい服装、室内履きをお持ちください。



「産後クライシス」



著者／坪井健人・内田明香  
出版社／ポプラ新書

平成24年9月にNHK総合テレビの朝の情報番組で、産後クライシスに関する特集が放送され、大きな反響となっていることをインターネットのニュースで知りました。少し調べてみると、大なり小なり自分に当てはまる部分があることに気づき、もっと詳しく

く知りたいと思い、この本を購入しました。産後クライシスとは、この番組のディレクターであり、著者である坪井健人氏の造語で、出産後に夫婦の関係が急速に冷え込むことを意味します。著書の中では、この現象の根本的な原因は、出産によって身体的、精神的、社会的な変化がある女性に対して、それに気づくことができないう男性という、出産に対する意識の差にあると述べられています。

この現象自体は以前から存在していたようですが、周囲に支援者がいない母親の増加といった子育て環境の変化が、視聴者から反響を得て、クローズアップされる要因の一つになっていると言います。本の後半では、この産後クライシスを回避していくための具体的な方策が妻編、夫編に分かれて記されているほか、母親だけでなく夫婦を支える支援体制の必要性にも言及されており、一人の父親としてもとても考えさせられる一冊でした。

(竹川)

3月の総合相談

法律相談は予約が必要で  
す。先着順となっています  
ので、お早めにお申し込み  
ください。

法律相談

と き：3月6日(木)  
13:00~16:00  
と ころ：山田ふれあいハウス

と き：3月20日(木)  
13:00~16:00  
と ころ：稲築住民センター

心配ごと相談

と き：3月12日(水)  
13:00~15:00  
と ころ：稲築住民センター

と き：3月26日(水)  
13:00~15:00  
と ころ：稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

炭鉦の記憶



No.83

写真は、昭和30年代に撮影されたもので、鴨生駅に汽車が入ってきているところです。当時鴨生駅があった場所は、現在の鴨生駅跡公園にあり、駅名標を模した案内書きや踏み切り警報機などが建てられています。左に写る建物は、選炭作業を終え、製炭された石炭を貨車に乗せる作業を行っていた場所です。ここから、大ききやカローリによって原料炭、粉炭、中塊、微炭などの銘柄に分けられた石炭が、各地に運ばれていたそうです。

三井山野炭鉦で、昭和21年から開山まで、選炭に関する仕事をされていた方にお話を伺いました。選炭とは、掘り出された石炭から不純物や低品位のものを取り除く作業のことで、機械や人の手による選別、水や油での洗浄などの方法があります。当時は、手選、水選、浮選の3つの工程が行われていたそうです。まず、人の手によって60mm以上の大きな石炭を選別します。次に、残りを水の入った水選機という機械に入れ、空気圧で人工的に波をつくり、浮いたものを石炭、沈降したものを

ボタとして選り分けます。最後に水洗いした後の選炭排水を油の溶液に浸し、浮いてきた石炭だけを選別していました。

この仕事には、100名以上が就き、女性も多く従事していました。冬の寒い時期には、坑外にある選炭作業場はとても冷えるため、ストーブを焚いたり、パイプをひき蒸気で温めたりと工夫をしていましたが、指先などはすぐにかじかんでしまっていたと言います。手選は、昭和27年の第一立坑の完成とともに、機械処理に変わってしまいましたが、選炭作業の中でもとても大切な役割を担っていたそうです。



▲ 黒煙をあげ、鴨生駅に到着した汽車。構内で石炭貨車の入れ換え作業を行います。(写真提供：鴨生町 松本 みよ子さん)

炭鉦時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。

TEL 0948 (42) 0751

# クリスマスの 雰囲気を楽しむ

昨年12月21日(土)に開催したクリスマスコンサートには、56名の方が来場されました。

トウインクルキャッツの皆さんによるピアノ、マリオンバ、パーカッションの演奏で幕を開けた第一部は、映画のテーマソングなどの軽快な曲が多く、会場からは自然と手拍子が沸き起りました。

古賀稲子さん、中西智子

さんのピアノとフルートによる第二部では、演奏の他に、楽器や曲の紹介があり、

クリスマス時期によく流れている曲でも、もともとはクリスマスソングではなかったなどの話がありました。

最後は、「ジングルベル」の合奏でクリスマスモードを満喫しました。来場者の



▲元気の演奏で盛り上がっていました。

方は、「息のあった演奏がよかった」、「クリスマス時期にあった曲で、音色が綺麗でした」との感想が聞かれました。

## 今月のえがお

最近えがおになった出来事を教えてください!



いづつ しゅうか  
井筒 秋華さん

私が勤めているお店では、施設の利用者の方と一緒にパンやお菓子などを作って販売しています。仕事は大変だけど、利用者の方が帰省した時の話などを嬉しそうに聞かせてくれるので、私まで笑顔になります★私を見かけたら、ぜひ、お店に立ち寄ってください!!!  
笑顔でお待ちしています♡♡



森田 航平くん

お友達の家で餅つきをしました。2歳の時はなかなかできなかったけど、3歳になったら、自分で杵きねを持ってお餅をつくことができました。パパやお友達と一緒に楽しい思い出ができて、とっても嬉しいです★自分で丸めたあんもちが美味しかったから、また食べたいな~♪

## 指定葬祭場紹介

## かほ葬祭 あじさい会館

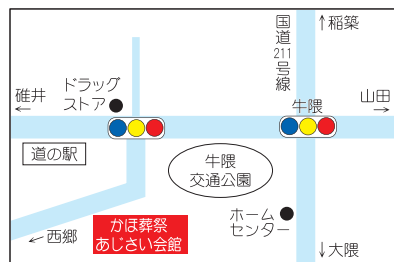
嘉麻市西郷 150-1  
☎62-5566

かほ葬祭では、もしもの時に安心の「あじさい会」会員を募集しています。会員とご家族の方は、多くの無料・割引特典がご利用いただけます。また、バスハイク等の日帰り旅行を企画し、会員の皆様の交流を深めています。

事前相談・家族葬等の相談も承っておりますので、お気軽にご相談ください。



葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭 あじさい会館を含め、市内に8カ所あります。

善光会館 稲築会場・・・☎83-5000  
飛鳥会館 南斎場・・・☎(0120)42-2241  
ひさつね会館・・・☎52-0758  
セレモニーホールおおつか・・・☎52-1212

おかむら葬祭 岡村会館・・・☎42-4420  
きど葬祭やまさ碓井斎場・・・☎62-4499  
いすや会館・・・☎57-4444



みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

12月1日～12月31日受付分

【尾浦第二】

親族 筒井 須美子 様  
故 筒井 延彦 様

【猪之鼻】

親族 松岡 ナツ子 様  
故 松岡 武勝 様

【さくらが丘】

親族 武田 由紀子 様  
故 武田 孝善 様

【新原】

親族 曾我部 功 様  
故 曾我部 みち子 様

【中益】

親族 大里 利子 様  
故 大里 光明 様

【下益】

親族 長濱 千代孝 様  
故 長濱 時秋 様

【上町】

親族 大里 正昭 様  
故 大里 敏子 様

【上牛隈】

親族 浅田 勇一 様  
故 浅田 治郎 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様  
木目込み人形教室 様

【物品寄付】

上白井下 松岡スミ子 様  
むつみ会 様



【子育てリユース】

山野第二 井上 美穂 様  
平山 松隈 明美 様  
熊本 中島 瞳 様  
上白井下 松岡スミ子 様  
大隈 齊藤 久子 様  
桂川町 岡本 千郷 様

【アルミ缶】

漆生本村 松熊 彩香 様  
漆生本村 松熊 涼太 様  
漆生本村 匿名 様  
漆生南部 西田 幸子 様  
東岩崎 匿名 様  
鴨生第一 伊藤喜代益 様  
枝坂 久家奈緒美 様  
熊本 中島 政美 様  
下白井東 匿名 様  
百々谷 橋本 利根 様  
中央 明石 睦則 様  
ゆうひが丘 梶原久美子 様  
立石 矢野 千恵 様  
古河 塚原 京子 様  
セレモニーホール おおつか 様

【リングプル】

漆生本村 松熊 彩香 様  
漆生本村 松熊 涼太 様  
漆生中央 松田 茂 様  
鴨生北町 山崎 恵子 様  
枝坂 志水 康子 様  
神幸 村上フクエ 様  
天神 匿名 様  
中央 明石 睦則 様  
立石 矢野 千恵 様  
石ヶ崎 國武美千代 様

【古切手】

漆生中央 松田 茂 様  
枝坂 志水 康子 様  
天神 匿名 様  
下午隈 川原 梨花 様  
福岡銀行稲築支店 様  
嘉麻市人権・同和对策課 様  
嘉麻市社会福祉課 様  
トモス(株) 様  
教育ナビゲーション(株) 様

大隈 實藤さき子 様  
三日町 大村ひとみ 様  
下牛隈 川原 咲 様  
桑野 有江 透 様  
スイミングプラザなつき 様  
山田手話の会 様  
嘉麻市身体障害者 様  
福祉協会嘉穂支部 様  
長円寺仏教婦人会 様  
グランドベルズ飯塚 様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)

12月1日～12月31日受付分  
〈漆生中央〉松田茂  
〈東岩崎〉杉本由里佳  
〈山野第一〉福澤トモエ  
〈辻中籠〉曾我秀治、曾我忠、大山薩子、松岡教知、大山利美、大山ハツ子、大山静馬、田上勇次、有吉廣行、奥園多美子、永水登美子、坂田壽子、

中並美潮、中並隆、永水伸幸、永水房子、山本興司、山口和子、永水正弘(二口)、永水清子(二口)、高木ふじ子、手島静子、小林道子、緒方広藏、常藤哲次、小林サツキ、永水米蔵、永水元和、中條凌一、永水泰典、中並龍夫、小林喜之、穴見英徳、松俵義博、永水幸子、篠崎賢豪、谷口久男、住吉ツルエ、小林松之助、田上義雄、釜堀純子、手島幸弘、國武光成、田中エミ子、曾我キヨ子、吉椿多賀志、常藤文子、米原太輔、上提政明、千代野一雄、大山時彦、花田光隆、水上信子、大山勲、田中巖、後藤一雄、稗田恭子、平田優男、手島嘉博、永水久喜、島田照子、相良剛、中並菊子、土師定義、高木カツミ、永水修一、今宮博美、久家貞美、  
〈緑ヶ丘〉金川千景、寄村順子、野嶋シズヨ、水上文雄、江野島敏行、田原雄二、衛藤マツエ、滝石ミヨ子、富永昭信、篠原弘之、毛利津奈子  
〈熊ヶ畑第三〉大田竜司  
〈上白井上〉犬丸寿美子  
〈百々谷〉西野フミ子  
〈さくらが丘〉近藤初美  
〈ゆうひが丘〉小野マリ  
〈中山田上〉瓜生誠子、石橋運、松岡孝子、中村市治、山崎秀二  
〈上〉熊本半  
〈巢外〉桜木和子

## 古里は遠きに在りて思う

私の生家は大隈町北斗宮の近くで幼少期は境内で遊んだり、豊臣秀吉の一夜城で有名な益富城(城山)で隠れ小屋を作ったり清流嘉麻川で泳いだり魚釣りをしていたことなど思い出します。23歳で古里を離れ、岡山県備前市役所に就職し、水道局長、備前市助役、副市長を務め、公務員生活39年を卒業現在東京の会社に籍を置き、まだ仕事を続けており、岡山在住44年となりました。

当地を少し紹介しますと、備前市及び瀬戸内市は岡山県南東部兵庫県境に接し、国道2号、国道250号、JR赤穂線、山陽新幹線が走り南は瀬戸内海に面し、温暖で住みやすく、桃太郎伝説の吉備団子や白桃、ぶどう(マスカット)等の果物、千二百年の伝統を誇る日本六古窯の一つの備前焼、耐火煉瓦、日本の名刀備前長船の産地です。史跡では江戸時代岡山藩主池田光政が創設した日本初の庶民教育学問所である閑谷学校(国の重要文化財)が在ります。福岡と岡山の関係も深く、岡山城主宇喜多直家が岡山城下に福岡市の商人を多勢移住させていたこと、そしてNHK大河ド



岡山県  
瀬戸内市在住  
野上計行さん  
大隈町出身

ラマに今年から登場した軍師黒田官兵衛(孝高)、官兵衛の曾祖父である黒田高政が、近江から備前福岡(瀬戸内市長船町)に移住して、その後息子重隆(祖父)が備前から播磨(姫路)に移り、大名小寺政職に仕え、その功績から姫路城代に任じられ、息子職隆(父)、長男孝高(官兵衛)は城主として家名を高めました。官兵衛の息子黒田長政が筑前52万石の大名として博多に築城した筑前国福岡は元来福岡と称されていましたが、黒田家発祥の地備前福岡にちなみ福岡と改名されました。備前福岡に在る妙興寺には黒田高政、重隆親子や宇喜多直家の父興家の墓があり、毎年福岡市の老人会が墓の掃除にいられています。また官兵衛の家臣で精鋭24人の一人で大酒豪と槍の名手黒田節で名高い母里友信(太兵衛)の菩提寺が私の生家の前に在る麟翁寺です。従って福岡と岡山は歴史的にも密接な関係があり、偶然にも私が住んでいることに不思議な縁を感じ、歳を重ねるにつれ古里が懐かしく思います。嘉麻市の益々の発展を祈念して結びといたします。

## コラム 交差点

## アンビシャス広場で子どもたちと共に

毎週木曜日15時を過ぎると、元氣いっぱいの子どものが西小学校日だまり館アンビシャス広場に40人位駆け込んで来ます。待ち受けているのは私たち老人会の小母ちゃんたちです。

西小アンビシャス広場は、山野、岩崎、漆生東、老松の老人会と、口春の有志の方で4人位のグループを組み、輪番で子どもたちの楽しい居場所として見守っています。県下では子ども会の行事に併せて地域の役職の方が取り組まれ活発です。稲築もそれぞれ青少年育成住民会議の係の方が行事とし

て取り組まれていますが、アンビシャス広場として老人会が対処しているのは珍しいという事で、昨年3月に県知事より、私たちの取り組みが表彰されました。

広場に来る子どもだけでなく、時には学校側の要望に応じ、学年全体で昔遊びや七夕祭もします。その時は、メンバー全員で取り組み、子どもたちは大喜びです。

毎年11月にはお茶会をします。昨年は86人来館です。神妙に正座してお抹茶をいただく姿も可愛いですね。2月末には石臼体験学習を組み、その展開で、きな粉団子を子どもたちに食べさせます。この時は小学校の思い出として6年生全児童と、来館の子どもたちと併せて300人位になります。

大変な作業ですが、老人会の大久保さん、村上さんは道で「小母ちゃん、ありがとう。また作ってね」と、子どもたちからお礼の言葉もかかったそうです。うれしい事です。

アンビシャス広場の子どもたちはそれぞれ自分のやりたい遊びに夢中です。卓球、囲碁、輪投げ、けん玉、パソコン等々。中には勉強している子も。私たちは子どもたちの安全を確かしながら見守るだけです。早いもので十数年たちました。この年になると、とても子どもたちについていけないと限界を感じ毎回悲鳴を上げ乍らも、嬉々として駆け回る様子を見ながら、「どうか健康やかに」とこれから伸びていく子どもたちの幸せを心の中で祈っている私たちです。(山野第一 佐田スエ子)

## ★ 編集後記 ★



6ページで紹介した「嘉麻市災害ボランティアセンターの設置に関する協定」の調印式に出席しました。いつ起こるかかわらない災害に備えて、平常時の準備が大切であることを改めて感じ、身が引き締まる思いでした。(きはら)



赤い羽根共同募金にはたくさんの方から温かいご協力をいただきました。支会だよりを作成するなかで、いろんな方と出会えたことが思い出されます。募金をお願いするなかで、「大変やね」「頑張ってるね」と声をかけていただいたこともあり、励みになりました。「広報紙をいつも楽しみに見てます」と言われたことも、嬉しかったです。(みぞくち)



今回もたくさんの方からホームレス支援物資をお寄せいただきました。中には、市外の方やお友達に声をかけて、何度も持ってきてくださる方もおられました。段ボールに詰め込むと、20箱以上にもなり、車一台で運べるか不安になるほどでした。ご協力いただきありがとうございます。(たけがわ)



今回の炭鉱の記憶では、掲載した写真について調べるのにとても苦労しました。市内を廻り、沢山の方に声をかけ、「あの人なら知ってるかも!」と紹介していただき、やっと知ることができました。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございます。(かわかみ)



昨年、日中一時支援事業でクリスマス会を開催しました。子どもたちがプレゼントをもらっているときの嬉しそうな顔・・・(\*^ω^\*) 思い出だけで、癒されます♡私には、その笑顔がサンタさんからの贈り物のような気がしました♡(しろがね)

編集後記を書いている本会職員の似顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。